

メリークリスマス！

あっという間にもう一年が終わりかけておりますが、皆さんお元気でいらっしゃいますか。私達はあした日本に発つというのに、今ごろこの御挨拶を書いている状態です。でも、皆元気でやっておりますので、他事ながらご安心ください。

今年は私達にとっては色々変化の多い一年でした。まず、1月には大望の永住権を取ることが出来ました。色々な手続き上のミスもあり普通は1年から2年で取れるものが3年以上もかかってしまいましたので、本当にほっとしました。永住権を取る前は、パデュー大学以外のところではたらくことや夏のアルバイトをするのも大変難しかったので、これからはもし大学を首になっても、国外追放にもなりませんし、マクドナルドでも働けます。

それから、3月には一味がめでたく tenure を取り助教授から準教授に昇進しました。ご存じの方も多いとは思いますが、米国では tenure を取るということは終身雇用を意味します。ですから、一味はもうマクドナルドで働かなくても食べていけるようです。

そのころ、愛犬のチビタンが極度のアレルギー症であることが、血液検査の結果、わかりました。ですから、今まで食べていた、牛肉や、鳥肉、豚肉入りのドッグフードも食べられず、麦と七面鳥のドッグフードとなり、かなり抵抗は激しかったものの、最近はずがに諦めたのか嫌々ながら、このまずいドッグフードを食べるようになりました。おまけに、チビタンは羽毛や猫の毛にもアレルギーなのですが、相変らず猫のミーちゃんを襲うことだけはやめません。ミーちゃんは根性の座った猫ですので、全然負けてはいませんが。

今年の夏は永住権が取れたせいか、一味はアルバイトにせいを出し、由紀子は8月に転職をするに当たって、パデューでの仕事の整理、引越の準備をして過ごしました。その間、筑波大学の加納先生と山元先生が訪ねて来てくださいました。

8月には名古屋大学にいらっしゃった深田さんがパデューの助教授として就任しました。一味と深田さんはイリノイ時代からの長い付き合いで、一味が電話で？時間以上ダベリングをする唯一のコンピュータ仲間ですので、深田さんが、パデューにきたことは一味にとってはとても嬉しいことでした。それから、由紀子の代わりにイリノイ大学から、近松暢子さんが客員としていらっしゃったので、パデューの日本語科はイリノイパワーでしめられているようです。

8月には由紀子がパデュー大学からアイオワ大学に転職し、結婚して2度目の別居生活となりました。（1度目は1989年で、一味がイリノイ大学を卒業しパデュー大学に就職したときです。でも、この時は、車で2時間以内の距離でしたので、あまり大変ではありませんでした。）今回は3つの州にまたがる長距離（片道5時間）の別居ですので、仕事も私生活も以前より大変になりましたが、得るものも多い転職でした。アメリカに来て14年いつも一緒に同じところで同じような生活をしてきた私達にとっては、お互いを見直す意味でも、お互いの仕事の方向せいを見つめる意味でも、いい経験となりました。これから、この生活がどのくらい続くのかはまだわかりませんが、今はこうしてよかったと思っています。そういう意味ではこの先まだ落ち着きませんが、お互いにとって有意義なものにしていきたいと思います。

皆様にとってこの一年が、本当によいものであったこと、それから来たとしがすばらしいものでありますよう、心からお祈りいたします。

敬具

一味、由紀子